

東通原子力発電所 基準地震動，基準津波の検討状況及び今後の工程について

2022年7月1日
東北電力株式会社

基準地震動, 基準津波の検討状況について

■基準地震動

- 2022年4月11日の第1039回審査会合で、「内陸地殻内地震」が概ね了承され、「敷地ごとに震源を特定して策定する地震動」は、概ね審査済み。
- 3月16日福島県沖の地震について、海洋プレート内地震として東北地方で最大規模となる地震であったことから、基本ケースの地震規模をM7.3からM7.4へ見直した断層モデルを設定し、今後、追加で説明予定。
- 「震源を特定せず策定する地震動」は、上記会合でのコメント、および先行プラントの審査実績を踏まえ、標準応答スペクトルに関する以下の検討を行い、6月より「①全国共通に考慮すべき地震動」の説明を実施。また、それに続き「②地域性を考慮する地震動」を説明予定。
 - 標準応答スペクトルの模擬地震波について、地震規模をM6.9からM7.0に見直して作成し、解放基盤表面における地震動の検討を実施。
 - 標準応答スペクトルの模擬地震波について、一様乱数位相に基づく検討に加え、実観測記録の位相を用いた検討を追加実施。

■基準津波

- 2022年1月28日の第1027回審査会合における以下のコメントを踏まえた検討・解析を実施しており、7月上旬にコメント回答の説明を目標に対応中。
 - 地震以外に起因する津波のうち日高舟状海盆の海底地すべりの評価について、発電所と浦河沖の海底地すべりの間に位置する表層付近の海底地すべり地形が発電所に及ぼす影響を確認するため、地すべり地形の詳細判読作業、その後、復元地形の作成・津波解析を実施。
 - 連動型地震と日高舟状海盆の海底地すべりの組合せ評価について、従前、補機冷却海水系取水口前面を対象に組合せ時間を算定していたことに対し、敷地前面(遡上域)及び取水口前面を追加。また、組合せ時間を変化させたパラメータスタディを実施。
 - 水位下降側の評価について、水位下降量に着目した整理に加え、補機冷却海水系取水口敷高を下回る継続時間による整理を追加。

基準地震動, 基準津波の12月までの工程について

▼:実績 ▽:予定

審査項目		審査状況	2022年															
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	現在	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
地震動	敷地ごとに震源を特定して策定する地震動	概ね審査済* *追加説明あり			▼ヒアリング(2/28)												「3.16福島県沖の地震」の知見の収集・解析等を踏まえ、追加で説明予定	
	震源を特定せず策定する地震動	①全国共通に考慮すべき地震動	審査中				標準応答スペクトル波解析											
		②地域性を考慮する地震動	審査中 (①に続き実施)				知見の収集・検討											
	基準地震動	審査準備中																「3.16福島県沖の地震」、「震源を特定せず策定する地震動」の審査結果を踏まえ設定
津波	地震に起因する津波	概ね審査済			▼審査会合(1/28)													
	地震以外に起因する津波	コメント回答の審査中			▼審査会合(1/28)	地すべり地形判読												▽ヒアリング ▽審査会合
	地震に起因する津波と地震以外に起因する津波の組合せ	コメント回答の審査中			▼審査会合(1/28)	津波解析												▽ヒアリング ▽審査会合
	基準津波	審査準備中																▽ヒアリング ▽審査会合
基準津波審査後、ハザード解析を実施																		